

## 淡路島地震 一部損壊の建物1200棟超

兵庫県淡路島付近で13日早朝に発生した最大震度6弱の地震で、住宅など建物の被害は、調査が進むにつれて大幅に拡大し、読売新聞の同日午後9時現在のまとめでは、兵庫、大阪、香川、徳島の4府県で、半壊が2棟、一部損壊は1210棟に上った。余震とみられる地震も続いており、大阪管区気象台が注意を呼びかけている。

兵庫県淡路市では液状化被害も確認された。同市の

津名臨海運動公園の多目的グラウンドでは、約10〜50平方メートルの範囲で泥が噴出し、市は安全が確認されるまで使用を禁止する。市東部の市道では泥が約100

メートルにわたって噴き出し、通行止めになった。

各府県警によると、兵庫、大阪、福井、岡山、徳島の5府県で重傷7人、軽傷16人の計23人がけがをした。